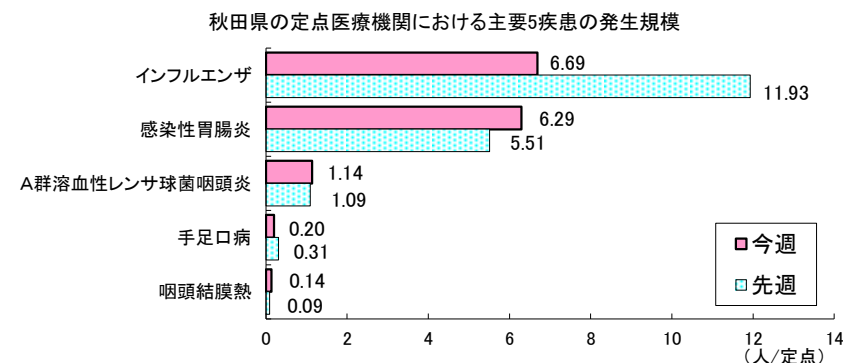




【第6週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- インフルエンザは、県全体で44%減少しています。保健所別では、全ての保健所で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、秋田中央で増加、大仙で同規模、由利本荘、横手、湯沢で減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.0倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で増加、大館、北秋田で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢								
	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減									
RSウイルス感染症	0.14	0.11	↘	0.14		↘					0.50	↗				0.25		↘		0.50	↗	0.50	0.25	↘	0.33		↘									
インフルエンザ	11.93	6.69	↘	12.18	7.55	↘	12.57	9.14	↘	21.00	7.67	↘	26.75	14.75	↘	16.33	11.33	↘	10.17	5.00	↘	4.43	0.43	↘	5.80	1.00	↘	6.60	5.20	↘						
咽頭結膜熱	0.09	0.14	↗	0.29	0.14	↘																														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	1.14	↗	1.71	1.86	↗	1.00	0.25	↘	1.50	0.50	↘				3.75	4.00	↗					0.25	↗	0.50	1.00	↗									
感染性胃腸炎	5.51	6.29	↗	11.57	15.29	↗	3.75	4.00	↗	7.00	9.00	↗	2.67	4.67	↗	3.50	6.50	↗	6.50	2.75	↘	2.00	2.00		5.00	3.00	↘	3.00	2.75	↘						
水痘	0.06	0.14	↗		0.14	↗													0.25	0.50	↗		0.25	↗												
手足口病	0.31	0.20	↘		0.14	↘	0.25		↘		0.50	↗							0.25		↘		0.25	↗	0.67	1.33	↗	1.75								
伝染性紅斑	0.06	0.03	↘	0.29																																
突発性発しん	0.14	0.11	↘	0.29	0.43	↗	0.25		↘	0.50		↘																								
ヘルパンギーナ																																				
流行性耳下腺炎	0.06	0.06		0.14		↘										0.25	0.25					0.25	↗													
川崎病																																				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*																			
流行性角結膜炎	0.14	0.14		0.33	0.33					*	*		*	*		*	*																			
細菌性髄膜炎		0.13	↗													*	*									1.00	↗									
無菌性髄膜炎																*	*																			
マイコプラズマ肺炎	0.13		↘													*	*					1.00		↘												
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*																			
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*																			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のE型肝炎が大仙保健所管内から1人、レジオネラ症が秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の水痘(入院例に限る)が大館保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-5週 全国	秋田	6週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
二類	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	1421	4	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	13		
	腸管出血性大腸菌感染症	103	4	1
	腸チフス	2		
四類	パラチフス	1		
	E型肝炎	43		1
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	21		
	エキノコックス症	3		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	1		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-5週 全国	秋田	6週 秋田
四類	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	53		
	デング熱	20		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	3		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	5		
	野兔病			
	ライム病	1		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	130	1	1	
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	45		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	13		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	127		
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	2		
	急性脳炎	140	4	
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	11		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	104	1	
	後天性免疫不全症候群	75		
	ジアルジア症	1		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	67		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	7		
	侵襲性肺炎球菌感染症	320	2	
	水痘(入院例に限る)	40	1	1
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	460	1	1
	播種性クリプトコックス症	9	1	
破傷風	5			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	9			
百日咳	689	3		
風しん	33			
麻しん	4			
薬剤耐性アシネトバクター感染症				

トピック

<梅毒について>

梅毒の患者報告数が増加傾向にあり、全国では10年前の約10倍となっています(表1)。秋田県でも、昨年は感染症法に基づく統計が始まった1999年以降で最も多い27人が報告されました。近年は、女性の患者報告も多くなっています。妊娠中の女性が梅毒に感染すると、胎盤を通じて胎児に感染し、死産や早産、新生児死亡、奇形(先天梅毒)が起こることがあるため、注意が必要です。

■症状

梅毒は「梅毒トレポネーマ」という細菌が原因で、主に性行為によって感染します。梅毒のステージ別の症状は表2のとおりです。

■検査や治療

梅毒は、早期に抗菌薬による治療を開始すれば治せる病気です。感染が少しでも疑われる場合は、早めに泌尿器科・皮膚科・産婦人科等の医療機関を受診しましょう。治療後に再び感染することもあります。感染が判明したらパートナーに必ず打ち明け、同時に治療を受けて、感染を繰り返さないようにすることが大切です。

表1 梅毒の患者報告数(人)

西暦	全国	秋田県
2009	691	4
2010	621	5
2011	827	5
2012	875	6
2013	1,228	2
2014	1,661	2
2015	2,690	3
2016	4,575	9
2017	5,820	8
2018	7,001	16
2019	6,577*	27

*2020年2月13日現在 未確定値

表2 梅毒のステージ別症状

時期	症状
早期	I期 感染して約3週間の潜伏期の後に、感染部位に硬いしこり(初期硬結)や潰瘍(硬性下疳:こうせいげん)がみられる。これらの症状は主に陰部に現れ、2~3週間で消退する。
	II期 I期の後、約3ヶ月を経過すると病原体が血流にのって全身へ広がり、性器以外の皮膚や粘膜にも発疹等の症状が現れる。
無症候期	早期と晩期の間に、いったん症状が消える。
晩期	感染してから3年以上経過すると、ゴム腫・心血管症状・神経症状などが出現する場合がある。現在では、早期から抗生剤による治療を開始する例が多く、晩期顕性梅毒に進行することはまれである。



2019年/2020年シーズン (2019年第36週：9月2日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

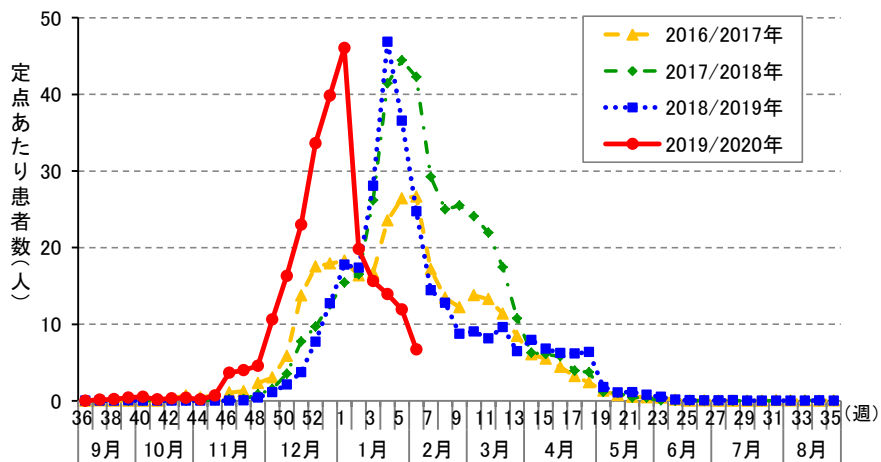


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
1/27～2/2 (5週)	2/3～2/9 (6週)	累計	1/20～1/26 (4週)	1/27～2/2 (5週)	累計
15	8	298	1,083	766	11,612

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告が5件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	型
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	北秋田市	鷹巣東保育園	2/3	60名のうち 7名	19名のうち 4名	11名	1/22 ~ 2/3	A
2	能代市	第一保育所	2/3	73名のうち 10名	30名のうち 0名	10名	1/24 ~ 2/3	A
3	鹿角市	わんぱくはうす	2/4	101名のうち 11名	30名のうち 0名	11名	1/30 ~ 2/4	A
4	大館市	たしろ保育園	2/5	118名のうち 10名	40名のうち 0名	10名	1/30 ~ 2/5	A
5	秋田市	秋田認定こども園	2/6	79名のうち 11名	24名のうち 0名	11名	1/19 ~ 2/6	B

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(2月9日時点)の報告数

104施設：社会福祉施設15、保育所等88、病院1

※社会福祉施設(老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設)等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



感染性胃腸炎情報

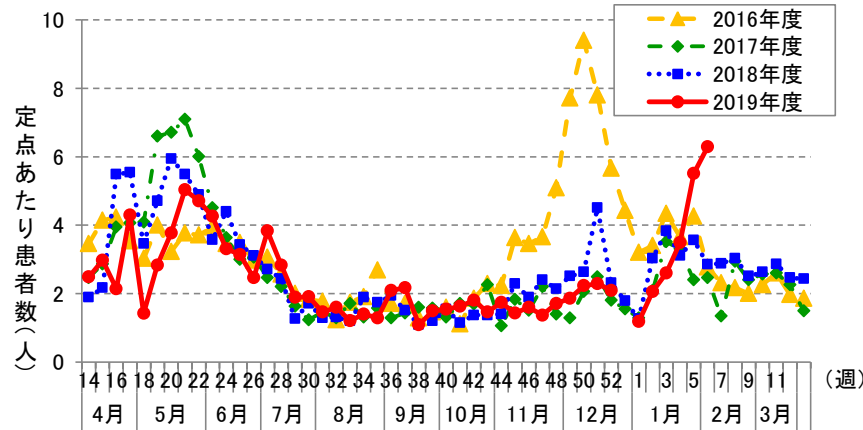


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

感染性胃腸炎の集団発生発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が4件ありました。

No.	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
1	大館市	釈迦内保育園	2/3	69名のうち 10名	21名のうち 0名	10名	1/30 ~ 2/3	嘔吐、下痢、発熱	
2	潟上市	出戸こども園	2/4	170名のうち 22名	42名のうち 3名	25名	1/29 ~ 2/4	下痢、嘔吐	ノロウイルス検出
3	大仙市	大川西根保育園	2/4	61名のうち 14名	17名のうち 3名	17名	1/27 ~ 2/4	嘔吐、下痢	
4	五城目町	もりやまこども園	2/6	175名のうち 11名	48名のうち 0名	11名	2/5 ~ 2/6	下痢、嘔吐	ノロウイルス検出

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

○2019年度(2月9日時点)の報告数

45施設: 社会福祉施設3、保育所等39、病院1、その他2

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

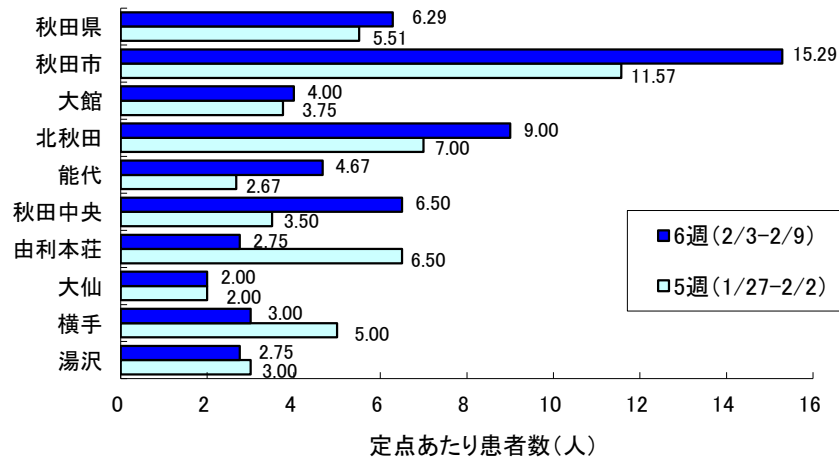


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	-	能代(14.75)、秋田中央(11.33)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		